



大津市公報

平成26年12月1日
号外(第71号)

発行所 大津市役所
発行人 大津市
毎月1日、15日(休日の場合は翌日)発行

目 次

告 示

281 平成26年度上半期の大津市の水道事業、下水道事業、ガス事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の業務状況の公表について..... 1

告 示

大津市告示第281号

地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第40条の2第1項の規定により、平成26年4月1日から同年9月30日までの大津市の水道事業、下水道事業、ガス事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の業務の状況を次のとおり公表する。

平成26年12月1日

大津市長 越 直 美

第1 水道事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成26年度上半期の給水戸数は14万8,223戸(対前年同期比0.94%増)、給水量は1,962万4,713m³(対前年同期比2.35%減)となっており、給水収益は27億73万円(対前年同期比3.02%減)となっています。

(建設、改良・維持管理)

平成26年度の水道事業は、「結の湖都・水道ビジョン」(大津市水道ビジョン・重点実行計画)後期計画(平成24年度から平成27年度まで)に基づき、拡張・改良事業を推進しています。

拡張事業では、平成24年度から実施している葛川地区簡易水道の上水道への統合整備工事を引き続き行い、平成28年度統合完了を目指しています。また、柳が崎浄水場から膳所浄水場までの間の浄水場連絡管整備は、三井寺地区の整備に着手しています。さらには、平成23年度から整備を進めていた瀬田公園配水池は完成し、平成26年6月に供用を開始しております。平成23年度から整備を進めていた浄水管理センター及び遠方監視システムについても竣工を迎え、平成26年7月に浄水管理センターの開所式を行いました。

改良事業では、健全管路の確保を図り、水の安定供給と漏水防止に努めるため、老朽铸铁管や鉛給水管の布設替工事を計画的に実施しています。また、平成24年度から実施している膳所浄水場から茶臼山配水池までの老朽送水管の布設替えは、引き続き、膳所支所から膳所神社までの区間を実施しています。

その他、24時間常駐体制の下、修繕処理等を行いました。

(経理状況)

平成26年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して2億9,484万円(9.97%)増加し、32億5,072万円となりました。一方、費用総額は14億2,373万円(57.49%)増加して39億35万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き6億4,963万円の純損失となりました。

なお、地方公営企業会計制度の見直しにより、損益計算書や貸借対照表の作成方法が大きく変わりましたが、このことによって、現金残高などの実際の経営状況に変化が生じているものではありません。

業務実績

区 分	単位	平成26年度 上 半 期	平成25年度 上 半 期	比較増減	伸び率 (%)
期 末 給 水 戸 数	戸	148,223	146,843	1,380	0.94
期 間 給 水 量	m ³	19,624,713	20,096,402	471,689	2.35
一 日 平 均 給 水 量	m ³	107,239	109,816	2,577	2.35

給 水 収 益	円	2,700,727,063	2,784,847,835	84,120,772	3.02
受 託 工 事 収 益	円	12,038,040	15,013,800	2,975,760	19.82
そ の 他 収 益	円	537,952,566	156,012,402	381,940,164	244.81
総 収 益	円	3,250,717,669	2,955,874,037	294,843,632	9.97
総 費 用	円	3,900,346,252	2,476,618,764	1,423,727,488	57.49

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成26年4月1日から同年9月30日まで

(単 位 : 円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
上水道事業収益	(2,699,803,075)	上水道事業費用	(2,183,504,716)
給水収益	2,697,507,275	浄水費	373,998,348
その他営業収益	2,295,800	配水費	162,718,941
簡易水道事業収益	(3,219,788)	漏水対策費	19,586,938
給水収益	3,219,788	給水費	160,109,127
受託工事収益	(12,038,040)	業務費	107,267,705
受託工事収益	12,038,040	総係費	89,960,005
営業外収益	(535,656,766)	減価償却費	1,256,145,000
受取利息及び配当金	2,134,817	資産減耗費	13,718,652
雑収益	46,524,717	簡易水道事業費用	(15,513,534)
加入金	114,860,000	維持管理費	6,972,534
他会計負担金	12,371,459	減価償却費	8,541,000
他会計補助金	11,075,773	受託工事費用	(19,619,407)
長期前受金戻入	348,690,000	受託工事費	19,619,407
		営業外費用	(232,898,123)
		支払利息及び企業債取扱諸費	229,025,043
		雑支出	3,873,080
		特別損失	(1,448,810,472)
		固定資産売却損	2,177,980
		その他特別損失	1,446,632,492
		当期純損失	(649,628,583)
計	3,250,717,669	計	3,250,717,669

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成26年9月30日現在

(単 位 : 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	[63,541,282,242]	固定負債	[22,136,738,417]
有形固定資産	(63,476,855,485)	引当金	1,389,671,000
土地	4,076,649,564	企業債	20,723,256,834
建物	3,135,551,377	リース債務	23,810,583
構築物	80,685,183,657	流動負債	[1,547,199,330]
機械及び装置	17,231,349,513	前受金	484,045,805

車 両 運 搬 具	68,830,571	そ の 他 流 動 負 債	237,552,482
工 具、器 具 及 び 備 品	283,793,779	引 当 金	243,724,342
リ ー ス 資 産	33,372,331	企 業 債	581,876,701
建 設 仮 勘 定	3,346,006,823	繰 延 収 益	[15,385,690,250]
減 価 償 却 累 計 額	45,383,882,130	長 期 前 受 金	30,371,413,947
無 形 固 定 資 産	(58,826,757)	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	14,985,723,697
庁 舎 使 用 権	42,380,013	資 本 金	[11,350,910,922]
電 話 加 入 権	5,807,699	資 本 金	11,350,910,922
施 設 利 用 権	10,397,645	剰 余 金	[16,838,027,814]
預 託 金	241,400	資 本 剰 余 金	1,660,931,972
投 資 そ の 他 の 資 産	(5,600,000)	利 益 剰 余 金	15,177,095,842
流 動 資 産	[3,067,655,908]	当 期 純 損 失	[649,628,583]
現 金 ・ 預 金	1,405,414,445		
未 収 金	502,068,813		
現 金 ・ 預 金 (大 口 預 金)	1,000,000,000		
貯 蔵 品	29,294,536		
前 払 金	15,197,900		
そ の 他 流 動 資 産	115,680,214		
計	66,608,938,150	計	66,608,938,150

3 平成25年度決算状況

総括事項

平成25年度の水道事業は、安全安心な水道水を安定して供給するため、平成20年3月に策定した「大津市水道ビジョン・重点実行計画」に基づき、事業を推進してきました。平成25年度は、この計画の前期4年間を検証して見直しを行った後期4年間の計画に基づき、瀬田公園配水池の施設整備や老朽化した送・配水管の布設替え、浄水場間の連絡幹線の整備事業などを実施しました。

経営面では、平成24年度に引き続いて純利益を計上することはできたものの、給水量（有収水量）が前年を下回ったことに伴い、給水収益が減少となるなど、大変厳しい財政状況でした。

平成25年度の業務状況は次のとおりです。

給水状況を前年度と比べると、年度末現在給水戸数は1,469戸（対前年比1.01%）増加して146,920戸となり、給水量は約45万7千m³（対前年比 1.14%）減少して3,969万m³となりました。

次に決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は2億5,256万円（対前年比4.04%）減少して60億379万円となりました。一方、支出総額は2億1,225万円（対前年比 3.61%）減少して56億7,208万円となりました。

この結果、平成25年度決算において、3億3,171万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単 位	平成25年度	平成24年度	比較増減	伸び率 (%)
配 水 量	m ³	42,878,364	43,531,016	652,652	1.50
一 日 平 均 配 水 量	m ³	117,475	119,263	1,788	1.50
給 水 量	m ³	39,690,193	40,147,586	457,393	1.14
一 日 平 均 給 水 量	m ³	108,740	109,993	1,253	1.14
年 度 末 現 在 給 水 戸 数	戸	146,920	145,451	1,469	1.01
年 度 末 現 在 給 水 人 口	人	340,351	339,400	951	0.28

イ 給水戸数内訳（事業別、用途区分別）

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (戸)	伸び率 (%)
	戸数 (戸)	構成比 (%)	戸数 (戸)	構成比 (%)		

上水道	146,648	99.81	145,175	99.81	1,473	1.01
簡易水道	272	0.19	276	0.19	4	1.45
計	146,920	100.00	145,451	100.00	1,469	1.01
家庭用	136,180	92.69	134,811	92.68	1,369	1.02
工場用	225	0.15	228	0.16	3	1.32
商業用	6,123	4.17	6,149	4.23	26	0.42
公用・学校用	1,528	1.04	1,517	1.04	11	0.73
医療用	444	0.30	438	0.30	6	1.37
公衆浴場用	14	0.01	14	0.01	0	0.00
その他	2,406	1.64	2,294	1.58	112	4.88
計	146,920	100.00	145,451	100.00	1,469	1.01

(注)用途区分は、新用途分類によるものです。

ウ 給水量内訳(事業別、用途区別)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (m^3)	伸び率 (%)
	給水量 (m^3)	構成比 (%)	給水量 (m^3)	構成比 (%)		
上水道	39,654,334	99.91	40,110,467	99.91	456,133	1.14
簡易水道	35,859	0.09	37,119	0.09	1,260	3.39
計	39,690,193	100.00	40,147,586	100.00	457,393	1.14
家庭用	30,693,999	77.34	30,831,324	76.80	137,325	0.45
工場用	1,108,173	2.79	1,155,476	2.88	47,403	4.10
商業用	4,473,358	11.27	4,617,945	11.50	144,587	3.13
公用・学校用	2,019,842	5.09	2,188,688	5.45	168,846	7.71
医療用	917,042	2.31	832,467	2.07	84,575	10.16
公衆浴場用	21,796	0.05	21,566	0.05	230	1.07
その他	456,083	1.15	500,120	1.25	44,037	8.81
計	39,690,193	100.00	40,147,586	100.00	457,393	1.14

(注)用途区分は、新用途分類によるものです。

エ 事業収益

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
上水道事業収益	5,446,428,743	90.71	5,541,332,247	88.56	94,903,504	1.71
簡易水道事業収益	5,958,764	0.10	6,072,184	0.10	113,420	1.87
受託工事収益	26,313,507	0.44	26,855,520	0.43	542,013	2.02
営業外収益	486,044,003	8.10	616,075,360	9.85	130,031,357	21.11

特 別 利 益	39,048,474	0.65	66,023,137	1.06	26,974,663	40.86
計	6,003,793,491	100.00	6,256,358,448	100.00	252,564,957	4.04

オ 事業費用

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
上水道事業費用	5,107,859,015	90.06	5,266,444,042	89.50	158,585,027	3.01
簡易水道事業費用	35,313,438	0.62	35,585,538	0.60	272,100	0.76
受託工事費用	39,212,115	0.69	45,772,153	0.78	6,560,038	14.33
営業外費用	470,947,471	8.30	513,054,334	8.72	42,106,863	8.21
特別損失	18,751,584	0.33	23,474,076	0.40	4,722,492	20.12
計	5,672,083,623	100.00	5,884,330,143	100.00	212,246,520	3.61

カ 平成25年度純利益
331,709,868円

第2 下水道事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成26年度上半期の調定件数は76万2,269件(対前年同期比1.70%増)、期間有収水量は1,835万5,563m³(対前年同期比2.80%減)となっており、また、下水道使用料は34億1,123万円(対前年同期比0.69%減)となっています。

(建設・改良)

水環境の保全対策では、平成19年度から進めてきた合流式下水道改善事業が平成25年度末で完成し、7月に竣工式を行いました。また、瀬田浦クリークの水質改善を図るため、水質浄化施設の整備事業を推進しています。

地震対策事業としては、平成25年度に策定した「下水道総合地震対策計画」に基づき、引き続き耐震化対策事業を推進しています。

その他、下水道雨水基本計画に基づく洪水対策の推進、下水道長寿命化計画に基づく施設の改築更新、下水道普及率の向上を目指し未整備地区の汚水管渠整備等を行っています。

(経理状況)

平成26年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して5億197万円(10.07%)増加し、54億8,524万円となりました。一方、費用総額は2億8,632万円(7.53%)増加して、40億9,104万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き13億9,420万円の純利益を計上しました。

なお、地方公営企業会計制度の見直しにより、損益計算書や貸借対照表の作成方法が大きく変わりましたが、このことによって、現金残高などの実際の経営状況に変化が生じているものではありません。

業務実績

区 分	単位	平成26年度 上半期	平成25年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
調 定 件 数	件	762,269	749,505	12,764	1.70
期 間 有 収 水 量	m ³	18,355,563	18,884,701	529,138	2.80
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	100,304	103,195	2,891	2.80
下 水 道 使 用 料	円	3,411,232,430	3,435,030,855	23,798,425	0.69
そ の 他 収 益	円	2,074,011,952	1,548,239,201	525,772,751	33.96

総 収 益	円	5,485,244,382	4,983,270,056	501,974,326	10.07
総 費 用	円	4,091,041,678	3,804,720,371	286,321,307	7.53

文中の金額は、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成26年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 収 益	(3,578,324,030)	営 業 費 用	(3,330,395,214)
下 水 道 使 用 料	3,411,232,430	管 渠 費	46,253,979
雨 水 処 理 負 担 金	167,000,000	ポ ン プ 場 費	39,952,092
そ の 他 営 業 収 益	91,600	処 理 場 費	245,259,255
営 業 外 収 益	(1,906,920,352)	流 域 下 水 道 管 理 費	503,670,192
受 取 利 息 及 び 配 当 金	6,683,873	業 務 費	141,949,913
他 会 計 負 担 金	858,000,000	総 係 費	88,666,957
他 会 計 補 助 金	28,000,000	減 価 償 却 費	2,263,566,000
雑 収 益	13,349,366	資 産 減 耗 費	144,296
長 期 前 受 金 戻 入	1,000,887,113	そ の 他 営 業 費 用	932,530
		営 業 外 費 用	(728,336,025)
		支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	728,336,025
		特 別 損 失	(32,310,439)
		固 定 資 産 売 却 損	549,237
		そ の 他 特 別 損 失	31,761,202
		当 期 純 利 益	(1,394,202,704)
計	5,485,244,382	計	5,485,244,382

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成26年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[142,250,899,319]	固 定 負 債	[57,013,688,129]
有 形 固 定 資 産	(134,049,179,957)	企 業 債	56,891,158,400
土 地	1,236,197,885	引 当 金	106,366,000
建 物	1,649,113,202	リ ー ス 債 務	16,163,729
構 築 物	131,950,650,353	流 動 負 債	[2,550,081,316]
機 械 及 び 装 置	8,209,656,547	前 受 金	13,287
車 両 運 搬 具	5,410,804	そ の 他 流 動 負 債	254,135,280
工 具、器 具 及 び 備 品	3,459,910	企 業 債	2,295,932,749
建 設 仮 勘 定	10,153,449,641	繰 延 収 益	[62,580,983,984]
減 価 償 却 累 計 額	19,182,064,409	長 期 前 受 金	71,661,520,730
リ ー ス 資 産	23,306,024	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	9,080,536,746
無 形 固 定 資 産	(8,185,099,362)	資 本 金	[16,600,276,665]
施 設 利 用 権	8,185,070,702	資 本 金	16,600,276,665
そ の 他 無 形 固 定 資 産	28,660	剰 余 金	[7,257,564,682]
投 資 そ の 他 資 産	(16,620,000)	資 本 剰 余 金	259,199,696
流 動 資 産	[5,145,898,161]	利 益 剰 余 金	6,998,364,986

現金・預金	4,354,858,742	当期純利益	[1,394,202,704]
未収金	655,045,362		
前払金	35,913,900		
その他流動資産	100,080,157		
計	147,396,797,480	計	147,396,797,480

3 平成25年度決算状況

総括事項

平成25年度の下水道事業は、生活環境の改善や安全性の向上、水環境の保全などの直面する諸課題に対応するため、第 期大津市(下水道事業)中期経営計画に基づき、管渠整備や施設の改築更新、施設の地震対策、合流式下水道の改善に取り組みました。

経営面では、有収水量が微増となったことに伴い、使用料収入が増加に転じたことや費用が減少したことにより収益的収支において平成25年度も純利益を計上することができました。

平成25年度の業務状況は次のとおりです。

下水道普及率を前年度と比べると、0.20ポイント増加して98.00%となり、水洗化率は0.10ポイント増加して97.30%となりました。年間有収水量は9,667^m (0.03%)増加して3,702万^mとなりました。

次に、決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は9,945万円(0.95%)減少して103億1,792万円となりました。一方、支出総額は7億7,979万円(8.23%)減少して86億9,968万円となりました。

この結果、平成25年度決算において、16億1,824万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成25年度	平成24年度	比較増減	伸び率 (%)
下水道普及率	%	98.00	97.80	0.20	0.20
水洗化率	%	97.30	97.20	0.10	0.10
年間総処理水量	m ³	47,146,778	46,921,419	225,359	0.48
年間有収水量	m ³	37,015,380	37,005,713	9,667	0.03

イ 調定件数内訳(処理区別)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (件)	伸び率 (%)
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)		
大津処理区	519,031	34.44	515,577	34.85	3,454	0.67
藤尾処理区	24,088	1.60	23,880	1.61	208	0.87
湖南中部処理区	473,680	31.43	458,794	31.01	14,886	3.24
湖西処理区	490,318	32.53	481,259	32.53	9,059	1.88
計	1,507,117	100.00	1,479,510	100.00	27,607	1.87

ウ 汚水量内訳(処理区別)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	汚水量 (m ³)	構成比 (%)	汚水量 (m ³)	構成比 (%)		
大津処理区	12,517,066	33.82	12,680,736	34.28	163,670	1.29
藤尾処理区	515,517	1.39	519,488	1.40	3,971	0.76
湖南中部処理区	11,411,504	30.83	11,196,056	30.25	215,448	1.92

湖西処理区	12,571,293	33.96	12,609,433	34.07	38,140	0.30
計	37,015,380	100.00	37,005,713	100.00	9,667	0.03

工 事業収益

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
下水道使用料	6,835,768,445	66.26	6,815,524,868	65.43	20,243,577	0.30
雨水処理負担金	400,801,373	3.88	404,952,385	3.89	4,151,012	1.03
その他営業収益	413,137	0.00	180,233	0.00	232,904	129.22
営業外収益	2,930,544,358	28.40	3,196,447,705	30.68	265,903,347	8.32
特別利益	150,397,437	1.46	266,725	0.00	150,130,712	56286.70
計	10,317,924,750	100.00	10,417,371,916	100.00	99,447,166	0.95

オ 事業費用

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
営業費用	7,123,438,968	81.88	7,803,799,027	82.33	680,360,059	8.72
営業外費用	1,573,637,951	18.09	1,671,580,189	17.63	97,942,238	5.86
特別損失	2,606,576	0.03	4,090,998	0.04	1,484,422	36.29
計	8,699,683,495	100.00	9,479,470,214	100.00	779,786,719	8.23

カ 平成25年度純利益

1,618,241,255円

第3 ガス事業

1 事業の概況

総括事項

(業務状況)

平成26年度上半期の供給戸数は9万4,933戸(対前年同期比0.27%増)、販売量は7,883万^m³(対前年同期比1.10%増)となりました。また、ガス売上は81億2,881万円(対前年同期比6.40%増)、受注工事収益は2億986万円(対前年同期比43.80%増)となりました。

(建設・改良)

拡張事業については、昨年度に引き続き、市北部及び南部地区において、供給区域内の未供給地区に対して導管網の整備を進めています。

改良事業については、都市ガスの長期安定供給を図るため、経年管の布設替え、耐震性ガス導管網の整備を引き続き行い、ガス漏れの予防保全、災害に強いガス設備の整備に努めています。

保安対策については、ガス設備安全点検及びガス機器の安全使用の周知、安全装置付機器への取替え促進を実施したほか、24時間常駐体制の下、修繕処理等を行うとともに、ガス漏れ、火災発生時に緊急出動を行い、二次災害の防止に努めました。

(経理状況)

平成26年度上半期の収益総額は、前年同期と比較して4億2,909万円(5.41%)増加し、83億6,247万円となりました。一方、費用総額は6億5,471万円(8.79%)増加して80億9,922万円となりました。この結果、当期の収支は、差引き2億6,325万円の純利益を計上しました。

なお、地方公営企業会計制度の見直しにより、損益計算書や貸借対照表の作成方法が大きく変わりましたが、このことによって、現金残高などの実際の経営状況に変化が生じているものではありません。

業務実績

区 分	単位	平成26年度 上半期	平成25年度 上半期	比較増減	伸び率 (%)
期末供給戸数	戸	94,933	94,681	252	0.27
期間販売量	m ³	78,827,597	77,971,735	855,862	1.10
一日平均販売量	m ³	430,752	426,075	4,677	1.10
ガス売上	円	8,128,811,758	7,640,063,527	488,748,231	6.40
受注工事収益	円	209,861,920	145,944,440	63,917,480	43.80
その他収益	円	23,800,053	147,374,889	123,574,836	83.85
総 収 益	円	8,362,473,731	7,933,382,856	429,090,875	5.41
総 費 用	円	8,099,219,750	7,444,514,488	654,705,262	8.79

販売量は、45MJ/m³に換算したものです。

文中の金額などは、万円単位で表示し、単位未満を四捨五入したため、計算が一致しない場合があります。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成26年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 益		費 用	
科 目	金 額	科 目	金 額
製 品 売 上	(8,128,811,758)	営 業 費 用	(7,812,773,172)
ガ ス 売 上	8,128,811,758	売 上 原 価	6,473,447,740
営 業 雑 収 益	(210,656,970)	供 給 販 売 費	1,244,552,928
受 注 工 事 収 益	209,861,920	一 般 管 理 費	94,772,504
そ の 他 営 業 雑 収 益	795,050	営 業 雑 費 用	(187,504,081)
営 業 外 収 益	(23,005,003)	受 注 工 事 費 用	187,504,081
受 取 利 息 及 び 配 当 金	9,556,248	営 業 外 費 用	(32,629,965)
雑 収 益	11,534,755	支 払 利 息	30,966,479
長 期 前 受 金 戻 入	1,914,000	雑 支 出	1,663,486
		特 別 損 失	(66,312,532)
		そ の 他 特 別 損 失	66,312,532
		当 期 純 利 益	(263,253,981)
計	8,362,473,731	計	8,362,473,731

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成26年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[12,615,392,265]	固 定 負 債	[3,125,711,888]
有 形 固 定 資 産	< 10,591,824,749 >	企 業 債	1,952,873,015
供 給 設 備	(43,110,782,939)	リ ー ズ 債 務	26,299,873
土 地	601,405,836	引 当 金	1,146,539,000
建 物	1,175,285,329	流 動 負 債	[3,678,773,143]
構 築 物	152,420,481	買 掛 金	1,238,675,492

機械及び装置	876,597,602	前受金	120,397,032
導管	39,892,482,010	預り金	22,965,260
ガスメーター	210,737,589	その他流動負債	622,744,719
車両運搬具	69,117,817	引当金	1,487,245,000
工具、器具及び備品	132,736,275	企業債	186,745,640
供給設備減価償却累計額	(33,150,022,769)	繰延収益	[58,725,383]
業務設備	(536,611,067)	長期前受金	62,924,715
構築物	89,193,947	長期前受金収益化累計額	4,199,332
車両運搬具	3,184,717	資本金	[17,120,350,483]
工具、器具及び備品	15,261,518	剰余金	[4,241,255,667]
建物	261,664,650	資本剰余金	< 18,491,713 >
土地	129,914,228	工事負担金	5,297,167
リース資産	37,392,007	他会計負担金	13,194,546
業務設備減価償却累計額	(279,553,501)	利益剰余金	< 4,222,763,954 >
建設仮勘定	(374,007,013)	減債積立金	576,026,627
無形固定資産	< 961,516 >	当年度未処分利益剰余金	1,096,737,327
電話加入権	711,976	原価変動調整積立金	950,000,000
預託金	249,540	災害対策積立金	1,600,000,000
投資その他資産	< 2,022,606,000 >	当期純利益	[263,253,981]
流動資産	[15,872,678,280]		
現金・預金	1,819,937,530		
売掛金	1,401,148,574		
未収金	15,027,689		
現金・預金(大口預金)	12,000,000,000		
貯蔵品	31,523,659		
前払金	25,762,400		
その他流動資産	579,278,428		
計	28,488,070,545	計	28,488,070,545

3 平成25年度決算状況

総括事項

平成25年度のガス事業は、安定供給や保安の確保を図るため、第 期大津市（ガス事業）中期経営計画に基づき、導管網の整備を計画的に実施し、施設の整備改良や需要家設備の安全点検などの保安対策、地震等災害対策に取り組みました。

経営環境としては、東日本大震災以降続く省エネ意識の浸透による節約の影響や他のエネルギーとの競争に加えて、天然ガスの原料価格の高騰などから平成25年度も厳しい状況下でした。

経営面では、工業用を中心に減少しましたが、収益的収支において平成24年度に引き続いて純利益を計上することができました。

平成25年度の業務状況は次のとおりです。

供給状況を前年度と比べると、年度末現在供給戸数は214戸（0.23%）増加して94,639戸に、一方、販売量は581万³（3.32%）減少して1億6,915万³となりました。

次に決算状況を前年度と比べると、収益的収支において収入総額は7億4,777万円（4.43%）増加して176億2,406万円となりました。一方、支出総額は14億8,134万円（9.84%）増加して165億2,961万円となりました。

この結果、平成25年度決算において、10億9,445万円の純利益を計上しました。

業務実績

ア 業務量

区 分	単位	平成25年度	平成24年度	比較増減	伸び率 (%)
購 入 量	m ³	163,263,913	167,018,210	3,754,297	2.25
一 日 平 均 購 入 量	m ³	447,298	457,584	10,286	2.25

販 売 量	m ³	169,148,095	174,958,014	5,809,919	3.32
一 日 平 均 販 売 量	m ³	463,420	479,337	15,917	3.32
年 度 末 現 在 供 給 戸 数	戸	94,639	94,425	214	0.23

イ 販売件数内訳(ガス種別 用途別)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (件)	伸び率 (%)
	件 数 (件)	構成比 (%)	件 数 (件)	構成比 (%)		
都 市 ガ ス	94,619	99.98	94,405	99.98	214	0.23
L P G	20	0.02	20	0.02	0	0.00
計	94,639	100.00	94,425	100.00	214	0.23
家 庭 用	91,032	96.19	90,836	96.20	196	0.22
工 業 用	72	0.08	74	0.08	2	2.70
商 業 用	2,519	2.66	2,521	2.67	2	0.08
公 用	761	0.80	740	0.78	21	2.84
医 療 用	255	0.27	254	0.27	1	0.39
計	94,639	100.00	94,425	100.00	214	0.23

ウ 販売量内訳(ガス種別 用途別)

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (m ³)	伸び率 (%)
	販売量 (m ³)	構成比 (%)	販売量 (m ³)	構成比 (%)		
都 市 ガ ス	169,141,679	100.00	174,951,348	100.00	5,809,669	3.32
L P G	6,416	0.00	6,666	0.00	250	3.75
計	169,148,095	100.00	174,958,014	100.00	5,809,919	3.32
家 庭 用	37,044,388	21.90	38,200,732	21.83	1,156,344	3.03
工 業 用	106,511,573	62.97	110,594,006	63.21	4,082,433	3.69
商 業 用	12,803,591	7.57	13,276,693	7.59	473,102	3.56
公 用	9,053,368	5.35	9,199,355	5.26	145,987	1.59
医 療 用	3,735,175	2.21	3,687,228	2.11	47,947	1.30
計	169,148,095	100.00	174,958,014	100.00	5,809,919	3.32

(注) 販売量は、45MJ/m³に換算したものです。

エ 事業収益

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)		
製 品 売 上	17,054,903,588	96.77	16,247,150,604	96.27	807,752,984	4.97
営 業 雑 収 益	312,979,906	1.78	244,415,161	1.45	68,564,745	28.05

営業外収益	256,160,811	1.45	384,722,287	2.28	128,561,476	33.42
特別利益	15,990	0.00	0	0.00	15,990	-
計	17,624,060,295	100.00	16,876,288,052	100.00	747,772,243	4.43

オ 事業費用

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増減 (円)	伸び率 (%)
	金額 (円)	構成比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)		
売上原価	12,998,321,298	78.64	11,694,476,236	77.72	1,303,845,062	11.15
供給販売費	2,774,321,458	16.78	2,676,552,195	17.79	97,769,263	3.65
一般管理費	334,086,895	2.02	307,335,099	2.04	26,751,796	8.70
営業雑費用	330,358,184	2.00	264,985,352	1.76	65,372,832	24.67
営業外費用	89,245,497	0.54	99,946,089	0.66	10,700,592	10.71
特別損失	3,274,968	0.02	4,977,175	0.03	1,702,207	34.20
計	16,529,608,300	100.00	15,048,272,146	100.00	1,481,336,154	9.84

カ 平成25年度純利益

1,094,451,995円

第4 病院事業

1 事業の概況

平成26年度上半期における患者数は、入院患者数71,504人、外来患者数115,360人、合計で186,864人となり、前年同期に比べ、入院患者数で2,628人(3.5%)減少し、外来患者数で5,453人(4.5%)減少しました。

次に、当期における収支状況については、病院事業収益は医業収益が52億349万円、医業外収益等が6億145万円で総額58億494万円となり、前年同期に比べ3,847万円(0.7%)の減少となりました。

一方、病院事業費用は85億1,957万円となり、前年同期に比べ30億5,425万円の大幅な増加となり、当期末の純損失は27億1,463万円(前年同期は3億7,809万円の純利益)となりました。

なお、地方公営企業会計制度の見直しにより、損益計算書や貸借対照表の作成方法が大きく変わりましたが、このことによって、現金残高などの実際の経営状況に変化が生じているものではありません。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成26年4月1日から同年9月30日まで

(単位:円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業収益	[5,804,936,586]	病院事業費用	[8,519,569,987]
医業収益	(5,203,489,097)	医業費用	(4,971,872,709)
入院収益	3,627,227,314	給与費	2,786,978,238
外来収益	1,292,552,166	材料費	908,190,391
その他医業収益	283,709,617	経費	691,667,214
医業外収益	(601,427,083)	減価償却費	575,958,000
看護専門学校収益	20,458,006	研究研修費	9,078,866

受取利息配当金	89,838	医 業 外 費 用	(281,394,948)
他 会 計 負 担 金	309,783,000	看 護 専 門 学 校 費	60,945,953
他 会 計 補 助 金	150,118,000	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	164,010,006
補 助 金	7,101,000	託 児 所 費	6,087,610
託 児 所 収 益	1,284,901	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 費	26,753,609
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 収 益	33,703,653	長 期 前 払 消 費 税 償 却	21,510,000
長 期 前 受 金 戻 入	18,749,358	雑 損 失	2,087,770
そ の 他 医 業 外 収 益	60,139,327	特 別 損 失	(3,266,302,330)
特 別 利 益	(20,406)	過 年 度 損 益 修 正 損	79,089
過 年 度 損 益 修 正 益	20,406	そ の 他 特 別 損 失	3,266,223,241
		当 期 純 損 失	[2,714,633,401]
計	5,804,936,586	計	5,804,936,586

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成26年9月30日現在

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	[17,781,925,245]	固 定 負 債	[17,888,287,228]
土 地	6,033,388,819	企 業 債	14,582,114,942
建 物	22,389,876,156	リ - ス 債 務	393,067,018
建物減価償却累計額	13,731,326,835	引 当 金	2,913,105,268
構 築 物	172,497,405	流 動 負 債	[873,629,777]
構築物減価償却累計額	83,741,765	企 業 債	583,593,833
器 械 備 品	4,097,305,364	リ - ス 債 務	36,320,702
器械備品減価償却累計額	2,769,063,691	未 払 金	168,157,932
車 両 運 搬 具	6,900,000	そ の 他 流 動 負 債	85,557,310
リ - ス 資 産	526,038,030	繰 延 収 益	[1,076,107,923]
建 設 仮 勘 定	129,463,000	長 期 前 受 金	1,821,363,840
その他有形固定資産	7,250,000	長期前受金収益化累計額	745,255,917
無 形 固 定 資 産	701,582,354	資 本 金	[15,745,444,234]
長期前払消費税	301,756,408	自 己 資 本 金	15,745,444,234
流 動 資 産	[2,495,763,880]	剰 余 金	[12,591,146,636]
現 金 ・ 預 金	287,510,339	資 本 剰 余 金	7,250,000
未 収 金	1,985,842,542	利 益 剰 余 金	12,598,396,636
貯 蔵 品	79,788,110	当 期 純 損 失	[2,714,633,401]

前 払 金	3,390,900		
そ の 他 流 動 資 産	139,231,989		
計	20,277,689,125	計	20,277,689,125

3 平成25年度の決算状況

平成25年度の病院事業は、平成24年3月に策定した「経営計画」に基づき、高精度の血管造影装置の導入など、医療機器の整備を進めるほか、電子カルテシステムや画像保存通信システムの導入、がん治療のための放射線治療室の建設など、中長期にわたる経営基盤強化を見据えた施設設備を推進してまいりました。

経営面では、診療体制の変更の影響などによる入院収益の大幅な減少のほか、高額な医療機器の購入による減価償却費の増加などもあり、収支において純損失を計上することとなりました。

当期における患者数については、381,949人(入院患者数146,733人、外来患者数235,216人)で、前年度に比べ14,471人の減少となりました。

また、収支の状況については、病院事業収益は医業収益が105億2,348万円で、前年度に比べ2億7,317万円(2.5%)の減少となり、医業外収益等は12億8,237万円で、前年度に比べ2,948万円(2.2%)の減少となり、合計118億585万円で、前年度に比べ3億265万円(2.5%)の減少となりました。

一方、病院事業費用は、医業費用が114億4,202万円で、前年度に比べ1,018万円(0.1%)の増加となり、医業外費用は8億205万円で、前年度に比べ3,454万円(4.1%)の減少となりました。また、特別損失については8,818万円で、前年度に比べ2,043万円(30.1%)の増加となりました。よって、合計123億3,225万円で、前年度に比べ393万円(0.03%)の減少となりました。

この結果、平成25年度決算は、5億2,640万円の純損失を計上することとなりました。

第5 介護老人保健施設事業

1 事業の概況

平成26年度上半期における短期入所を含む入所者数は16,438人で、通所者数は1,488人であり、前年同期に比べると、短期入所を含む入所者数は836人(4.8%)減少し、通所者数は67人(4.3%)の減少となりました。

次に、当期における収支状況については、収入において、施設運営事業収益が2億1,832万円、施設運営事業外収益が1億850万円で総額3億2,682万円となり、前年同期に比べ1,162万円(3.4%)の減少となりました。

一方、支出において、施設運営事業費用が2億2,717万円、施設運営事業外費用が1,980万円、引当金繰入額の特別損失が1億9,061万円で総額が4億3,759万円となり、前年同期に比べ1億6,252万円(59.1%)増加し、当期末は純損失1億1,077万円(前年同期は純利益6,337万円)となりました。

なお、地方公営企業会計制度の見直しにより、損益計算書や貸借対照表の作成方法が大きく変わりましたが、このことによって、現金残高などの実際の経営状況に変化が生じているものではありません。

2 経理の状況

損益計算書

損 益 計 算 書

平成26年4月1日から同年9月30日まで

(単位：円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
施設運営事業収益	(218,320,681)	施設運営事業費用	(227,174,547)
介護報酬収益	191,916,494	給 与 費	162,987,915
施設利用料収益	25,494,687	材 料 費	5,603,513
その他施設運営事業収益	909,500	経 費	46,197,540
施設運営事業外収益	(108,499,561)	研 修 費	43,339
受取利息配当金	5,981	減 価 償 却 費	12,342,240
他会計負担金	102,318,000	施設運営事業外費用	(19,804,744)
老人介護支援センター事業収益	5,961,918	支払利息及び企業債取扱諸費	13,306,078
その他施設運営事業外収益	213,662	老人介護支援センター事業費	6,498,666
		特 別 損 失	(190,613,124)
		そ の 他 特 別 損 失	190,613,124
		当 期 純 損 失	(110,772,173)
計	326,820,242	計	326,820,242

貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成26年9月30日現在
(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	(1,233,991,379)	固 定 負 債	(919,230,294)
土 地	643,950,000	企 業 債	708,835,905
建 物	1,342,825,550	リ - ス 債 務	35,776,389
建物減価償却累計額	810,867,564	引 当 金	174,618,000
医療用器械備品	3,671,287	流 動 負 債	(36,381,399)
医療用器械備品減価償却累計額	3,487,722	企 業 債	28,117,689
車 両	814,346	リ - ス 債 務	7,357,891
車両減価償却累計額	773,628	未 払 金	244,440
その他器械備品	19,233,375	その他流動負債	661,379
その他器械備品減価償却累計額	16,832,293	繰 延 収 益	(27,954)
リ - ス 資 産	46,516,228	長期前受金	559,084
電話加入権	436,800	長期前受金収益化累計額	531,130
ソフトウェア等	8,505,000	資 本 金	(912,630,663)
流 動 資 産	(110,993,718)	自 己 資 本 金	912,630,663
現金・預金	30,815,608	剰 余 金	(412,513,040)
施設運営事業未収金	72,009,039	資 本 剰 余 金	536,939
施設運営事業外未収金	1,260,606	利 益 剰 余 金	413,049,979
その他流動資産	6,908,465	当 期 純 損 失	(110,772,173)
計	1,344,985,097	計	1,344,985,097

3 平成25年度の決算状況

開設以来18年目に当たる本年度は、入所者数、通所者数の減少により、若干の減収となりました。費用については、人件費、光熱水費等の増加により全体で増加しましたが、収益的収支において純利益を計上することができました。

今後、計画的な施設、備品の更新等により資金需要が高水準で推移することが見込まれるのに対し、収入の大幅な増加は期待できず、厳しい財政運営が続きます。

利用状況については、入所は延べ34,453人(長期入所33,345人、短期入所1,108人)で、前年度に比べ289人(0.8%)の減少、一方、通所は延べ2,964人で、前年度に比べ692人(18.9%)の減少となりました。

収支状況については、収入において、施設運営事業収益が4億5,114万円で、前年度と比較して1,035万円(2.2%)減少し、施設運営事業外収益が1億9,169万円で、前年度に比べ3,609万円(23.2%)の増加となり、収入の合計は6億4,284万円で、前年度と比べると2,567万円(4.2%)の増加となりました。

一方、支出においては、施設運営事業費用が5億8,366万円で、前年度に比べ2,326万円(4.2%)増加し、施設運営事業外費用が4,078万円で、前年度に比べ121万円(2.9%)減少し、支出の合計は6億2,444万円で、前年度と比べると2,167万円(3.6%)の増加となりました。

この結果、1,839万円の純利益を計上することとなりました。

また、資本金収入は、出資金が4,648万円であり、資本金支出は、建設改良費の1,050万円及び企業債償還金の5,398万円で、収支の不足額1,799万円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

なお、本年度において、資金不足は生じていません。